2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	老年総合医学特論Ⅰ・Ⅲ	杉本 研

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

（1）老年症候群（特にフレイル，サルコペニア）の病態生理を詳細に理解するために，新規診断法や介入効果判定法について理解し，習得する。
（2）急性期疾患治療後または慢性期高齢患者における老年医学的評価の意義を明らかにする。

授業到達目標

（1）骨格筋エコーを用いた筋肉量・筋輝度評価により，サルコペニアの重症度評価や介入効果判定ができる。
（2）急性期疾患治療後または慢性期高齢患者における老年医学的評価が疾患の治療効果や短期・長期予後に与える影響を特定できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	隔週	金	16:00-17:00	角谷 裕之	講義	[症例検討会]	老年内科入院症例の症例検討会 [場所:高齢者医療センター5 階カンファレンス室]
2	毎週	火	17:00-18:00	杉本 研	講義	[抄読会]	老年医学関連の最新の知見、文献を紹介する。 [場所:高齢者医療センター5 階カンファレンス室]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1） 1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1） 1年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

作成されたレポートの内容に対してコメントや修正を加えて返却し，フィードバックする。

教科書

ISBN-9784758304955, 改訂版 健康長寿診療ハンドブック : 実地医家のための老年医学のエッセンス, 日本老年医学会編集, 日本老年医学会, 2019

参考書

ISSN-0300-9173, 日本老年医学会雑誌, 日本老年医学会 [編], 日本老年医学会, 1964-
ISSN-1444-1586, Geriatrics & gerontology international, Blackwell Science Asia, 2001-

準備学習（予習・復習等）

（1）実習前に教科書・参考書等を参考に, 30～60 分程度の予習を行う。
（2）定期的に履修手帳に研究計画やその進捗を簡潔に記載する。
（3）実習内容に関する関連文献などを調べ, 30～60 分程度復習し，理解を深める。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

以下の項目を満たしている場合，修了と判断する。
・卓越した成果をあげ，専門分野の深い学識を獲得している。
・老年医学分野を牽引し，指導的役割を果たすことができる。

注意事項・メッセージ

老年医学全般に関するトピックについて，学会発表や各種雑誌から情報を得る習慣をつけておく。